

環境マネジメント

環境保全委員会体制により、PDCAサイクルを通じた改善を推進しています。

推進体制

カシオグループでは、カシオ計算機とそのグループ会社を対象に、副社長を委員長として5つの専門委員会と5つの実行部門で構成される「カシオ環境保全委員会体制」を整備。この体制のもと、「カシオ環境ボランティアプラン」および「環境行動目標」に基づく、環境保全活動をPlan、Do、Check、Actionサイクルの継続的改善を実施することにより、環境経営を推進しています。

具体的には、以下に図示した組織のなかで、推進事務局および5つの専門委員会がPlanを、5つの実行グループがDoを、環境監査機関および推進事務局がCheckを、そしてカシオ環境会議がActionを、それぞれ担っています。

各組織の役割と概要

カシオ環境会議

- カシオグループ環境政策の方向性や行動目標、行動計画の決定
- 実行委員会および専門委員会の環境政策の審議および活動実績の報告

- 将来的環境動向や各実行部門間の情報交換

各専門委員会

- 実行部門単独でなく、グループ会社または事業部共通で取り組むべき戦略テーマを統轄する専門委員で構成する。専門委員長はカシオ環境保全委員会の委員長が任命する。
- テーマ別専門委員会は専門委員長と各実行部門委員長により任命された実行委員で構成され、運営は推進事務局が行う。

実行部門

- カシオ環境会議の決定事項を受けて、環境改善活動を推進する。
- 実行部門全体の環境マネジメントシステムを構築する。
- 環境マネジメントシステム実施のために体制および責任を明確にし、目的・目標を制定し、運用管理、自主監査、是正処置を行う。

推進事務局

- カシオグループ環境政策の方向性や行動目標、行動計画の企画
- カシオ環境ボランティアプランの運用管理と環境経営指針の改訂を行う。

- 国内外の環境動向をつかみ実行部門等へ情報提供する。
- カシオ環境保全委員会の運営とテーマ別専門委員会の運営を行う。

環境監査機関

- 推進事務局と実行部門の内部監査員から構成され、カシオグループ全体のレベルアップを図るため、実行部門への環境パフォーマンス調査や事業所環境自己監査を行う。

ISO14001の認証取得状況

カシオでは、生産系主要拠点のうち、国内12拠点、海外9拠点でISO14001の認証取得を完了。上記21拠点のうち、15拠点については更新審査が完了しています。今後の活動は、システムおよびパフォーマンスの継続的改善へと移行していきます。また、営業系の拠点についても認証取得を拡大し、全カシオグループでの環境保全体制の構築を、推進していきます。なお、2004年度時点で、全事業所の認証取得率は、従業員比率で78.2%に達しています。

ISO14001認証取得事業所

事業所名	取得年月
山形カシオ	1997年11月
甲府カシオ	1998年1月
高知カシオ	1998年3月
カシオ電子工業	1999年9月
カシオサポートシステム	2000年1月
カシオマイクロニクス	2000年3月
カシオ計算機 羽村技術センター	2000年10月
カシオ計算機 八王子技術センター	2000年10月
カシオ計算機 本社	2000年12月
カシオソフト	2001年12月
カシオテクノ	2002年5月
カシオ日立モバイルコミュニケーションズ	2004年6月
韓国カシオ	1998年4月
香港カシオ(番禺工場)	1999年9月
香港カシオ	1999年12月
カシオ電子(珠海)	2000年9月
朝日電子デバイス(インドネシア)	2001年2月
カシオタイ	2001年9月
台湾カシオ	2001年12月
カシオ電子(深圳)	2002年2月
カシオ電子(中山)	2002年4月

環境監査

カシオでは、環境マネジメントシステムISO14001に基づく内部監査・外部監査を3年ごとに行い、継続的な改善を図っています。また、その補完的な位置づけとして、独自の基準に基づく「事業所環境自己監査」を年に1回実施。その成果は7事業所でのゼロエミッション達成として現れています。さらに、製品開発と同期して製品環境アセスメントを行っており、現在は全商品に占めるグリーン商品の比率が59%に達しており、2007年度には70%をめざしています。

事業所環境自己監査

カシオでは、ISO14001の内部監査や外部審査に加えて、2004年4月から国内の事業所を対象に毎年「事業所環境自己監査」を行っています。

これは、ISO14001の認証を取得していないサイトも含め、カシオが独自に監査項目を設定し、内部・外部監査の補完的な位置づけで行われるものです。

監査にあたっては、「事業所環境自己監査手順書」および「事業所環境自己監査チェックシート」が用意され、カシオ環境ボランティアプランに基づいた6つのジャンル(環境運営体制・情報公開・社会貢献/省エネ・省資源・資源循環・オゾン層破壊防止/廃棄物リユース・リサイクル・埋め立て削減活動/有害物質削減・適性管理/水質・大気・土壌汚染対策/物流・環境会計)について監査を行います。

この監査の結果を踏まえ、ジャンルごとの現状を明確にすることで、今後の施策の方向付けを行っています。

環境教育・表彰制度

カシオでは、従業員一人ひとりが日常から環境に配慮した活動ができるよう、環境教育、啓発活動を推進しています。まず新入社員に対しては、配属前に環境一般教育を実施。加えて、一般社員、管理職、環境担当者など階層別の研修として、業務内容に応じて一般教育/専門教育を年1回実施し、環境意識と知識レベル向上に努めています。

また、生産拠点毎に改善提案制度の運営を行い、優秀な提案に対しては、個人またはグループ単位で年に2回表彰しています。そのほかにも、2つの生産拠点で独自の表彰制度を設けて運営しており、さらにはエコボーナス制度(表彰:随時)、社長賞(表彰:2回/年)、職場行動指針遵守表彰制度(表彰:2回/年)など、社員の環境保全への意欲を促進する表彰活動を積極的に行っています。

環境リスクマネジメント

カシオでは、人体・生物多様性に悪影響を及ぼす土壌・河川・大気汚染に結びつく事故を環境リスクとして捉え、各事業所・拠点ごとにリスクマネジメント体制を整備し、使用する機器・薬液などに対応して「緊急事態対応規程」を設けています。また、各事業所・拠点ごとに独自の「緊急事態対応規程」を設け、年に一度、緊急事態が生じたことを想定した応訓を実施しています。

環境に関する規制遵守の状況

カシオでは、過去5年間、環境に関する法令違反・罰金・科料・苦情・訴訟などは下表のようありません。

過去5年間の規制違反等の状況

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
件数	0	0	0	0	0
金額	0	0	0	0	0

取り組み事例

高知カシオにおける緊急事態訓練

2004年9月、高知カシオでは環境保全部環境保全課の主催のもと、定例の緊急事態・事故に関するテスト・訓練が実施されました。今回は、薬液供給室でのエッチング供給装置内で薬液の漏洩が発生したとの想定のもと、6日間にわたり毎回3名から11名が参加して行われ、保護具、供給装置、処置の方法、液付着物についての説明を受けました。



訓練風景

カシオ環境保全委員会 運営体制

